

**大場 悟** 県西部浜松医療センター 小児科 医長  
432-8580 浜松市富塚町 328  
Satoru OHBA TEL : 053-453-7111/FAX : 053-452-9217  
Dept. of Pediatrics, Hamamatsu Medical Center.  
328, Tomizuka-cho, Hamamatsu-shi, Shizuoka 432-8580  
e-mail : satoru.ohba@hmedc.or.jp

**葛西健郎** 岩手医科大学 小児科 講師  
020-8505 盛岡市内丸 19-1  
Takeo KASAI TEL : 019-651-5111/FAX : 019-651-0515  
Dept. of Pediatrics, Iwate Medical University.  
1-19, Uchimaru, Morioka, Iwate 020-8505  
e-mail : tkasai@iwate-med.sc.jp

**喜多恒和** 防衛医科大学校 産婦人科 講師  
359-8513 所沢市並木 3-2  
Tsunekazu KITA TEL : 042-995-1687/FAX : 042-996-5213  
Dept. of Obstetrics and Gynecology,  
National Defense Medical College.  
3-2, Namiki, Tokorozawa-shi, Saitama 359-8513  
e-mail : kitatndmc@aol.com

**北村勝彦** 横浜市立大学医学部 公衆衛生学教室 助教授  
236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9  
Katsuhiko KITAMURA TEL : 045-787-2610/FAX : 045-787-2609  
Dept. of Public Health,  
Yokohama City University, School of Medicine.  
3-9, Fukuura, Kanazawa-ku, Yokohama 236-0004  
e-mail : hiko@med.yokohama-cu.ac.jp

- 杉浦 互 国立感染症研究所 エイズ研究センター グループ長  
208-0011 武蔵村山市学園4-7-1  
Wataru SUGIURA TEL : 042-561-0771 (325/302) / FAX : 042-561-7746  
AIDS Research Center,  
National Institute of Infectious Diseases.  
4-7-1, Gakuenn, Musashimurayama-shi, Tokyo 208-0011  
e-mail : wsugiura@nih. go. jp
- 高野政志 防衛医科大学校 産婦人科 助手  
359-8513 所沢市並木3-2  
Masashi TAKANO TEL : 042-995-1687 / FAX : 042-996-5213  
Dept. of Obstetrics and Gynecology,  
National Defense Medical College.  
3-2, Namiki, Tokorozawa-shi, Saitama 359-8513  
e-mail : mastkn@me. ndmc. ac. jp
- 高山直秀 都立駒込病院 小児科 医長  
113-8677 文京区本駒込3-18-22  
Naohide TAKAYAMA TEL : 03-3823-2101 / FAX : 03-3824-1552  
Dept. of Pediatrics, Tokyo Metropolitan Komagome Hospital.  
3-18-22, Hon-Komagome, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8677  
takyamnd-k@komagome-hospital. bunkyo. tokyo. jp
- 谷口晴記 三重県立総合医療センター 産婦人科 医長  
510-8561 四日市市大字日永 5450-132  
Haruki TANIGUCHI TEL : 0479-63-8111 / FAX : 0479-60-1210  
Dept. of Obstetrics and Gynecology,  
Mie Prefectural General Medicine Center.  
5450-132, Hinaga, Yokkaichi, Mie 510-8561  
e-mail : VZD01336@nifty. ne. jp

- 塚原優己 国立成育医療センター 周産期診療部産科  
157-8535 世田谷区大蔵 2-10-1  
Yuki TSUKAHARA TEL : 03-3416-0181 / FAX : 03-3416-2222  
Div. of Obstetrics Dept. of Perinatal Medicine and Maternal Care,  
National Center for Child Health and Development.  
2-10-1, Okura, setagaya-ku, Tokyo 157-8535  
e-mail : tukahara-y@ncchd.go.jp
- 外川正生 大阪市立総合医療センター 小児内科 副部長  
534-0021 大阪市都島区都島本通 2-13-22  
Masao TOGAWA TEL : 06-6929-1221 / FAX : 06-6929-1091  
Dept. of Pediatrics, Osaka City General Hospital.  
2-13-22, Miyakojimahondori, Miyakojima-ku, Osaka 534-0021  
e-mail : mtogawa@pop21.odn.ne.jp
- 早川 智 日本大学医学部 産婦人科学教室 講師  
国立感染症研究所 エイズ研究センター 協力研究員  
Satoshi HAYAKAWA 173-8610 板橋区大谷口上町 30-1  
TEL : 03-3972-8111 (2522) / FAX : 03-3972-9612  
Dept. of Obstetrics and Gynecology,  
Nihon University School of Medicine.  
30-1, Ohyagutikami-machi, Itabashi-ku, Tokyo 173-8610  
e-mail : satoshih@med.nihon-u.ac.jp
- 林 公一 国立下関病院 産婦人科 医長  
751-8501 下関市後田町 1-1-1  
Kimikazu HAYASHI TEL : 0832-22-6216 / FAX : 0832-34-1416  
Dept. of Obstetrics and Gynecology, Shimonoseki National Hospital.  
1-1-1, Usiroda-cho, Shimonoseki, Yamaguchi 751-8501  
e-mail : hayashik@simonoseki.hosp.go.jp

- 箕浦茂樹 国立国際医療センター 産婦人科 医長  
162-8655 新宿区戸山 1-21-1  
Shigeki MINOURA TEL : 03-3202-7181/FAX : 03-3207-1038  
Dept. of Obstetrics and Gynecology,  
International Medical Center of Japan.  
1-21-1, Toyama, Shinjuku-ku, Tokyo 162-8655  
e-mail : sminoura@imcj.hosp.go.jp
- 宮澤廣文 国立国際医療センター 小児科 医長  
162-8655 新宿区戸山 1-21-1  
Hirofumi MIYAZAWA TEL : 03-3202-7181/FAX : 03-3207-1038  
Dept. of Pediatrics, International Medical Center of Japan.  
1-21-1, Toyama, Shinjuku-ku, Tokyo 162-8655  
e-mail : miyazawa@imcj.hosp.go.jp
- 保田仁介 松下記念病院 産婦人科 医長  
570-8540 大阪府守口市外島町 5-55  
Jinsuke YASUDA TEL : 06-6992-1231/FAX : 06-6992-4845  
Dept. of Obstetrics and Gynecology,  
Matsusita Memorial Hospital.  
5-55, Sotozima-cho, Moriguchi-shi, Osaka 570-8540  
e-mail : jiyasuda@trust.ocn.ne.jp
- 和田裕一 国立仙台病院 産婦人科 医長  
983-8520 仙台市宮城野区宮城野 2-8-8  
Yuichi WADA TEL : 022-293-1111/FAX : 022-291-8114  
Dept. of Obstetrics and Gynecology,  
Sendai National Hospital.  
2-8-8, Miyagino, Miyagino-ku, Sendai 983-8520  
e-mail : yuichi@fb3.so-net.ne.jp

- 大久保秀夫  
Hideo OKUBO  
大久保クリニック 小児科  
606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1-7  
TEL : 075-707-6688/FAX : 075-707-6660  
Okubo Pediatrics Clinic.  
1-7, Shimogamominaminonogami-cho, Sakyoku, Kyoto 606-0847
- 長縄 聡  
Satoshi NAGANAWA  
横浜市立大学医学部 公衆衛生学教室 研究生  
国立感染症研究所 エイズ研究センター 協力研究員  
236-0004 横浜市金沢区福浦3-9  
TEL : 045-787-2610/FAX : 045-787-2609  
Dept. of Public Health,  
Yokohama City University, School of Medicine.  
3-9, Fukuura, Kanazawa-ku, Yokohama 236-00041
- 吉野直人  
Naoto YOSHINO  
Dept. of Oral Biology, School of Dentistry,  
Immunobiology Vaccine Center,  
The University of Alabama at Birmingham.  
845 19th St. So. BBRB 770 Birmingham, AL 35294-2170  
TEL : +1-205-934-1257/FAX : +1-205-975-4431

平成 13 年度[エイズ対策研究推進事業]  
研究成果発表会 報告書

平成 14 年 3 月 1 日

財団法人 エイズ予防財団

理事長 島尾忠男 殿

報告者 国立名古屋病院

産科医長 戸谷良造

1. 発表テーマ

わが国におけるエイズウイルスを中心とした性感染症罹患妊婦と母子感染の現状及びその対策

2. 発表会報告

HIV 母子感染予防の臨床的研究グループの平成 12 年度までの研究成績から、(1) わが国においては妊婦に HIV 抗体検査が行なわれ、HIV 感染妊婦と判明している症例には、ほぼ母子感染予防を成し得ている。(2) 妊婦への HIV 抗体検査実施率には大きな地域格差があり、実施率が高い地区は 90%以上に成されている反面、10%以下と低い地域があることが判明した。そのためこれらの現状を日本の産婦人科医師、小児科医師、保健関係医療者のみならず、妊婦を含む広く一般市民に当研究グループの研究成果を報告し、理解を深めて頂くことが更なる母子感染防止効果に繋がると判断し、エイズ予防財団に対して研究成果発表会の申請をしたところ承諾を得て開催する運びとなった。

参加者の内訳は別紙に記すが、医師、パラメディカル、行政関係者、エイズに何らかの関わりのある方等の参加が多かった。

発表会を開催することは、当グループにとっては初めての機会であり如何にして PR を行なうかに多大の労を要した。

ポスター・チラシの作製ならびに配布

ポスターは A3 版を作成し、各都道府県のエイズ拠点病院をはじめ、保健所などの行政 HIV/エイズ担当部署等に配布した。エイズ予防財団のみならず、厚生労働省保健局疾病対策課エイズストップ作戦本部事務局の指導を得て、マスコミによる広報活動の依頼も行なった。また、

今年度の発表会開催地、およびそれに隣接する府県の産婦人科、小児科標榜施設、加えてエイズ予防財団の協力を得てエイズ関係のパラメディカル、NGO 等にも案内はがきを送付した。

会場設定は、「研究成果発表会（国民向け）」として一般市民の方の参加に便宜となることを考慮し、比較的知名度が高く交通の便の良い会場を選択した。

日時の選定は、参加者が最も多く得られるであろう土曜日の午後とした。

東京会場：7月14日 13:00 - 16:00 文京シビックホール (定員：370名)

大阪会場：8月18日 13:00 - 16:00 市立男女共同参画センター東部館 (定員：380名)

福岡会場：9月8日 13:00 - 16:00 市立早良市民センター (定員：500名)

発表のテーマは下記の7演題を企画した。

1. HIV 母子感染予防の臨床的研究の概説
2. 妊婦に対する HIV 抗体検査率の全国調査成績
3. HIV 感染妊婦と母子感染の現況
4. HIV 感染妊婦から生まれた児の追跡調査
5. HIV 母子感染予防対策マニュアルについて
6. 妊産婦の STD および HIV 陽性率〔開催：大阪・福岡〕
7. HIV 感染者の人工受精・体外受精〔開催：大阪・福岡〕

東京発表会では1～5の発表のみとなり、発表者の都合にて6, 7は行なえなかった。大阪、福岡会場では7演題の全てを行なった。別紙に各会場プログラム、配付資料を添付する。

今回、当グループが3回の研究成果発表会を持ち得たことは、当初目的とした妊婦への HIV 抗体検査実施の必要性の普及に少なからず貢献し得たものと考えている。それはエイズに関するマスコミ報道が減少し、また、任意の無料 HIV 抗体検査受検者数が減少していると報じられているように社会的関心度が低下しているにもかかわらず、現在、我々が集計しつつある平成13年度の妊婦への HIV 抗体検査実施率には、逆に上昇の傾向が認められている。本発表会での活動を含め、当研究グループの活動が日本での HIV 母子感染防止問題への関心度を高めることに貢献し得たものと考えている。関東地方を中心に高い HIV 抗体検査実施率が得られている地域がある反面、中四国、九州地域など低い地域もある。HIV 母子感染防止は如何に高率に妊婦が HIV 抗体検査を受けるか否かにある。妊婦への HIV 抗体検査実施率を向上させるべく単に産婦人科医師のみならず、広く一般妊婦への HIV 抗体検査実施の必要性を理解して頂く必要がある。今後も HIV 抗体検査実施への啓蒙活動を続け、日本での HIV 母子感染防止を更に推進すべく活動を継続したい。

厚生科学研究エイズ対策研究推進事業

## 「わが国におけるエイズウイルスを中心とした 性感染症罹患妊婦と母子感染の現状及びその対策」 研究成果発表会

主催：財団法人 エイズ予防財団

平成 12 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業

「妊産婦の STD 及び HIV 陽性率と妊婦の STD 及び

HIV の出生児に与える影響に関する研究」班（主任研究者：田中憲一）

分担研究「HIV 母子感染予防の臨床的研究」グループ（分担研究者：戸谷良造）

### 東京発表会：7月14日（土） 文京シビックホール

13：00 開演

13：05 開会挨拶

座長：箕浦茂樹（国立国際医療センター産婦人科\*）

井村総一（都立清瀬小児病院院長\*）

13：10 1. HIV 母子感染予防の臨床的研究の概説

戸谷良造（国立名古屋病院産婦人科\*）

13：20 2. 妊婦に対する HIV 抗体検査率の全国調査成績

高野政志（防衛医科大学校産婦人科\*）

13：35 3. HIV 感染妊婦と母子感染の現況

和田裕一（国立仙台病院産婦人科\*）

13：55 4. HIV 感染妊婦から生まれた児の追跡調査

高山直秀（都立駒込病院小児科\*）

14：15 休憩

14：35 5. HIV 母子感染予防対策マニュアルについて

塚原優己（国保旭中央病院産婦人科\*）

15：00 総合討論・質疑応答

16：00 閉会挨拶

\* 「HIV 母子感染予防の臨床的研究」班



厚生科学研究エイズ対策研究推進事業

## 「わが国におけるエイズウイルスを中心とした 性感染症罹患妊婦と母子感染の現状及びその対策」 研究成果発表会

主催：財団法人 エイズ予防財団

平成 12 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業

「妊産婦の STD 及び HIV 陽性率と妊婦の STD 及び

HIV の出生児に与える影響に関する研究」班（主任研究者：田中憲一）

分担研究「HIV 母子感染予防の臨床的研究」班（分担研究者：戸谷良造）

### 大阪発表会：8月18日（土） クレオ大阪東

- 13:00 開演
- 13:05 開会挨拶 田中憲一（新潟大学医学部産婦人科）
- 座長：保田仁介（京都府立医科大学産婦人科\*）  
宮澤廣文（国立国際医療センター小児科\*）
- 13:10 1. HIV 母子感染予防の臨床的研究の概説  
戸谷良造（国立名古屋病院産婦人科\*）
- 13:20 2. 妊婦に対する HIV 抗体検査率の全国調査成績  
高野政志（防衛医科大学校産婦人科\*）
- 13:35 3. HIV 感染妊婦と母子感染の現況  
喜多恒和（防衛医科大学校産婦人科\*）
- 13:55 4. HIV 感染妊婦から生まれた児の追跡調査  
外川正生（大阪市立総合医療センター小児内科\*）
- 14:15 休憩
- 14:35 5. HIV 母子感染予防対策マニュアルについて  
塚原優己（国保旭中央病院産婦人科\*）
- 14:55 6. 妊産婦の STD および HIV 陽性率  
高桑好一（新潟大学医学部産婦人科）
- 15:10 7. HIV 感染者の人工授精・体外受精  
花房秀次（荻窪病院血液科）
- 15:30 総合討論・質疑応答
- 16:00 閉会挨拶

\* 「HIV 母子感染予防の臨床的研究」班

厚生科学研究エイズ対策研究推進事業

## 「わが国におけるエイズウイルスを中心とした 性感染症罹患妊婦と母子感染の現状及びその対策」 研究成果発表会

主催：財団法人 エイズ予防財団

平成12年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業

「妊産婦のSTD及びHIV陽性率と妊婦のSTD及び

HIVの出生児に与える影響に関する研究」班（主任研究者：田中憲一）

分担研究「HIV母子感染予防の臨床的研究」班（分担研究者：戸谷良造）

### 福岡発表会：9月8日（土） 市立早良市民センター

- 13:00 開演
- 13:05 開会挨拶
- 座長：稲葉憲之（獨協医科大学産婦人科\*）  
葛西健郎（岩手医科大学小児科\*）
- 13:10 1. HIV母子感染予防の臨床的研究の概説  
戸谷良造（国立名古屋病院産婦人科\*）
- 13:20 2. 妊婦に対するHIV抗体検査率の全国調査成績  
林 公一（国立下関病院産婦人科\*）
- 13:35 3. HIV感染妊婦と母子感染の現況  
喜多恒和（防衛医科大学校産婦人科\*）
- 13:55 4. HIV感染妊婦から生まれた児の追跡調査  
大場 悟（県西部浜松医療センター小児科\*）
- 14:15 休憩
- 14:35 5. HIV母子感染予防対策マニュアルについて  
谷口晴記（三重県立総合医療センター産婦人科\*）
- 14:55 6. 妊産婦のSTDおよびHIV陽性率  
高桑好一（新潟大学医学部産婦人科）
- 15:10 7. HIV感染者の人工授精・体外受精  
花房秀次（荻窪病院血液科）
- 15:30 総合討論・質疑応答
- 16:00 閉会挨拶

\* 「HIV母子感染予防の臨床的研究」班

### 3. アンケート集計報告

#### 研究成果発表会 東京発表会

(2001年7月14日(土) 文京シビックホール 13:00-16:00)

- ・ 開会挨拶・・・エイズ予防財団理事 山田兼雄先生
- ・ 閉会挨拶・・・戸谷良造
- ・ 発表は休憩、総合討論を含め、プログラムどおりに進行、終了
- ・ 来場者数 87 名
- ・ 発表会アンケート配付数 73 枚、回収 59 枚

#### 研究成果発表会 大阪発表会

(2001年8月18日(土) クレオ大阪東 13:00-16:15)

- ・ 開会挨拶・・・新潟大学産婦人科 田中憲一先生
- ・ 閉会挨拶・・・戸谷良造
- ・ 来場者数 90 名
- ・ 発表会アンケート配付数 75 枚、回収 56 枚

#### 研究成果発表会 福岡発表会

(2001年9月8日(土) 市立早良市民センター 13:00-16:15)

- ・ 開会挨拶・・・戸谷良造
- ・ 閉会挨拶・・・林 公一
- ・ 来場者数 93 名
- ・ 発表会アンケート配付数 77 枚、回収 62 枚

## アンケート集計

	参加総数	アンケート		
		配付数	回収数	回収率
東京	87	73	59	80.8%
大阪	90	75	56	74.7%
福岡	93	77	62	80.5%

## 年令・性別・職業

		東京	大阪	福岡	計
年令		42.8±10.9才 (25-70才)	41.1±11.3才 (22-70才)	39.8±9.7才 (22-60才)	
性別	女	39	39	49	127
	男	20	17	13	50
職業	医師	26	14	9	49
	看護婦(士)	5	12	10	27
	助産婦	15	12	26	53
	保健婦	4	4	8	16
	カウンセラー	2	3	1	6
	NGOメンバー	3	2	0	5
	その他	4	11	8	23

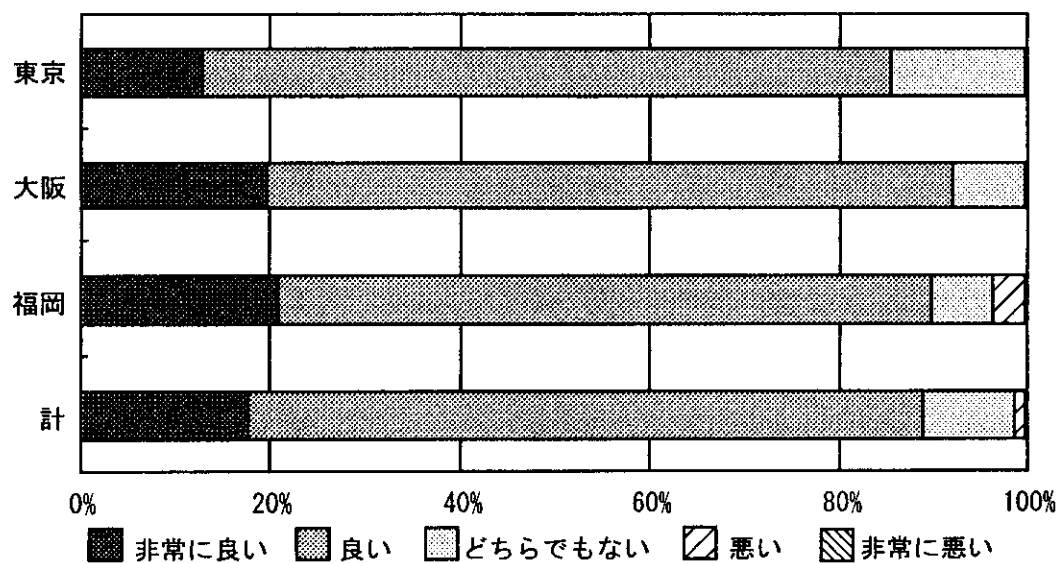
## 住所

東京		大阪		福岡	
東京都	21	大阪府	25	福岡県	26
神奈川県	11	京都府	5	佐賀県	8
茨城県	2	兵庫県	8	長崎県	6
栃木県	3	滋賀県	2	熊本県	1
埼玉県	2	奈良県	2	大分県	13
千葉県	9	その他	13	鹿児島県	1
その他	11			その他	7

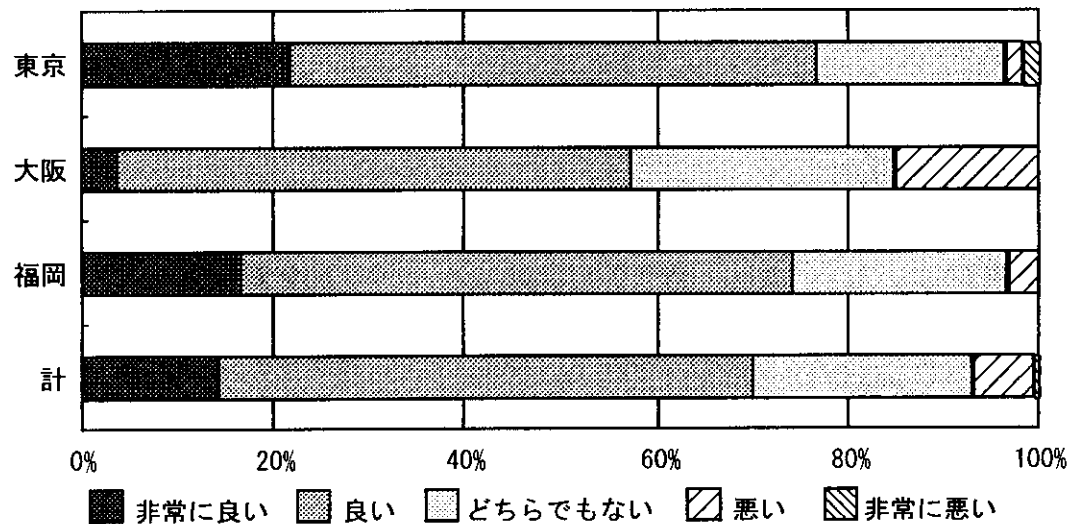
PR 方法

	東京	大阪	福岡
ポスター	18	19	21
はがき	20	19	10
新聞	1	0	1
Eメール	4	5	0
その他	15	17	31

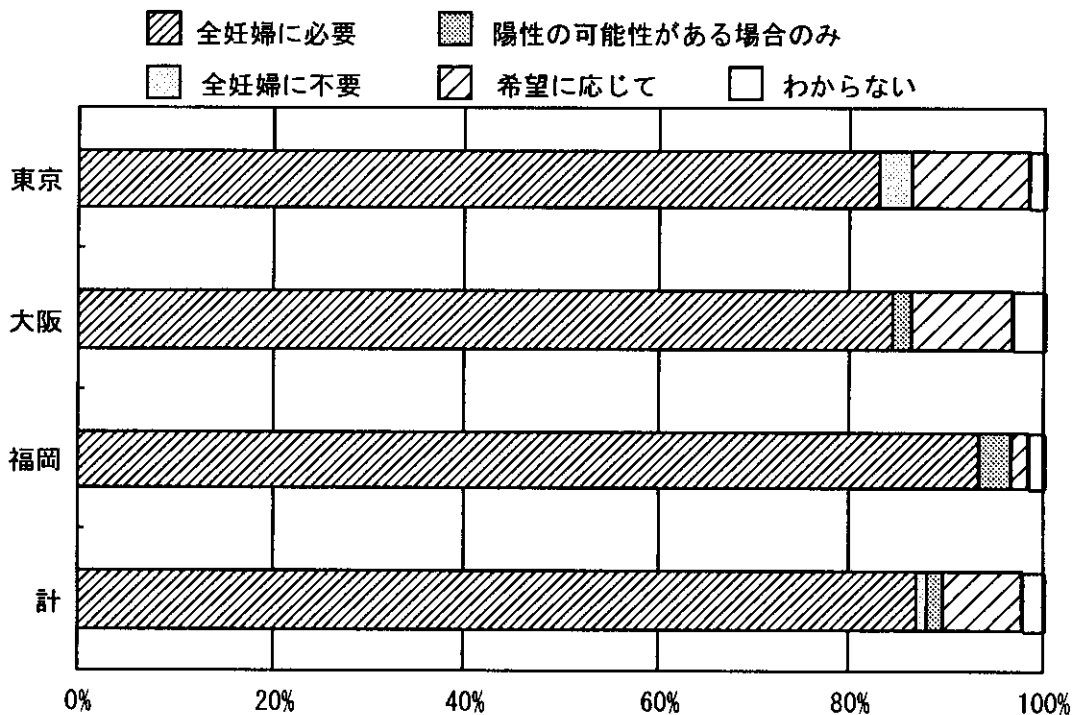
発表会全般



会場への交通、開催曜日・時間



妊婦に対するHIV抗体検査は必要とお考えですか？



妊婦に対するHIV抗体検査の費用負担はどれが適当とお考えですか？

